

環境に優しい街へ

生ごみゼロ大作戦を展開

岡原市 福前



市民を対象に2月に行われた「生ごみゼロ大作戦」の研修会

たもの。

2006年度に出た同市の1年間の可燃ごみは約1万8000ト。うち約4割を占める生ごみを、家庭でたい肥化することで、ごみの発生

一部を市が補助する取り組みも行われる。かねてから段ボールコンポストの重要性を訴えていた笹栗議員が、議会で取り上げたのは2007年12月。その時、家庭から出るごみ排出量の数値目標設定なども求めていた。

「ごみを減らし、環境に優しい街へ」。福岡原前市が今年1月から実施している「生ごみゼロ大作戦」が、市民に着実に浸透してきている。

ごみの減量化を図るため、家庭から出る生ごみを「段ボールコンポスト」でたい肥化してもらう運動で、市議会公明党の笹栗純夫議員の提案が実っ

量を減らし、処理コストの削減や環境対策につながることをめざしている。今年1月と2月には、市内9校区で市民を対象にした研修会が行われ、地元JA糸島と協力して、「段ボールコンポスト」を使ってたい肥化する実践指導も実施した。新年度からは、段ボールコンポストの購入費用の